

第 1 回 広陵町総合計画審議会部会意見に対する回答

	意見	回答
1	<p>・「基本的方向 2 (1) こども園・保育園における教育の充実」に関して、他の施策と同様に住民満足度についてもKPI設定してはどうか。</p>	<p>・「基本的方向 1 (1) 妊娠～出産～子育てまでの支援強化」において、「子育て支援の充実に関する満足度」が設定されており、そのKPIをもって、満足度の評価をしたいと考えます。</p>
2	<p>妊娠～出産～子育てまでの支援強化について、資料 5 の P4 に記載ある指標には、住民アンケート調査結果として、子育て支援の充実に関する満足度が令和元年で 49.8% となっているがこの結果は高いのか低いのか。</p>	<p>・現在の第 4 次広陵町総合計画後期計画において成果指標として掲げている「子育て支援体制に関する町民の満足度」について、実績値が平成 27 年度の 24.6%、目標値を令和 2 年度 30.0% としていました。</p> <p>・このことから、今回の 49.8% は高いと判断されますが、平成 27 年度時のアンケート内容と今回実施のアンケート内容の設問等が同様ではないことから、今回策定する総合計画においては、49.8% を基準にし、施策展開を行ってまいります。</p>
3	<p>・「小学校就学前の保護者及び小学生児童の保護者を対象に実施したアンケート調査によると、子育てに不安や負担を感じている方がどちらも約 6 割を占め」とある。</p> <p>・具体的には、2014 年の調査では、就学前児童は 50.7% だったが、5 年後に調査すると 58.2% に上がった。</p> <p>・子ども子育て支援事業計画を策定し、事業を実施したのにも関わらず、不安を感じている人が増えたという結果に対して、検証しなければならないと考える。</p>	<p>・不安を感じている理由として、「将来的な子育てに対する不安」、「仕事と家事の両立」及び「家事と子育ての両立」などの理由があげられました。</p> <p>・こちらについては、「基本的方向 1 (1) 妊娠～出産～子育てまでの支援強化」、「基本的方向 2 (1) こども園・保育園における教育の充実」、「(2) 就学前～小学校～中学校教育の連携」に記載されている具体的な取組の中で対応をしていきたいと考えます。</p>
4	<p>・基本的方向 3 (1) 子ども世代・若年世代の地域を愛する心を育成の具体的な取組に記載のある下記内容がわかりにくい。</p> <p>「保育士・幼稚園教諭の将来的な定員管理の観点から正職員の採用を抑制する必要がある中、非常勤職員の採用も抑制しつつ勤務形</p>	<p>・少子高齢化が進む中、将来的な年少人口の減少見通しにより、保育等を必要とする子どもの人数が減少することから、先で保育士・幼稚園教諭の数が過剰とならないように、必要とされている保育等に係る人材を、さまざまな任用形態により確保し、全体的な質を向</p>

	態を正職員に準ずるものに見直すことで職員の配置を安定させ、また、任用形態にかかわらずその役割に応じた人材育成を行い全体的に職員の質を高める」	上らせていくという意味となります。
5	・転入・転出について、近隣地域間での転入・転出が多くある現状で、特に子育て世代の転入促進について、子育て世代の方が転入された理由は把握しているか。	・「参考資料2 広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョン策定のためのアンケート調査結果報告書 転入・転出者アンケート結果抜粋」により、後ほど概略を説明します。
6	・お祭りなどの世代間交流が継承されている地域において、お祭り等の行事を題材に何らかの取組ができないか	・「基本的方向3（1）子ども世代・若年世代の地域を愛する心を育成」に記載されている具体的な取組の中で対応をしていきたいと考えます。
7	・将来的に町内出身の就農者を増やすためにも、子どものうちに土に親しむ教育を取り入れてはどうか。	・「しごと分野」において、対応をしていきたいと考えます。